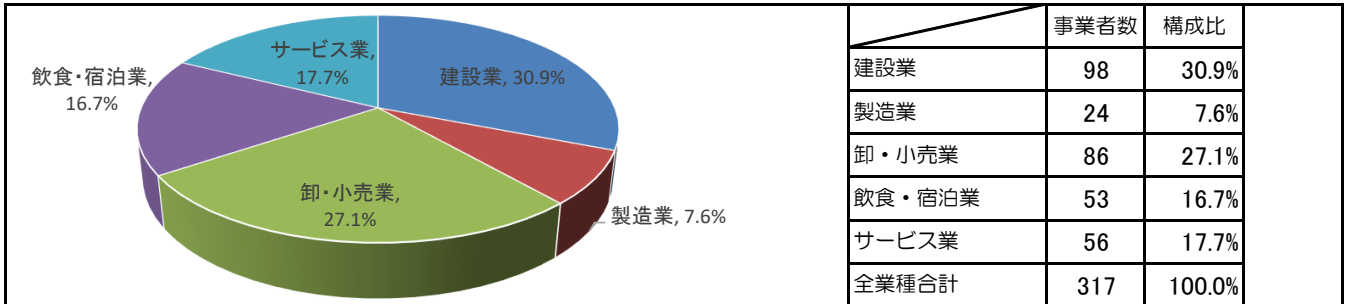


十日町市商工会地域 企業景況調査 第2四半期報告書（H29.7.1～H29.9.30）松代町地区

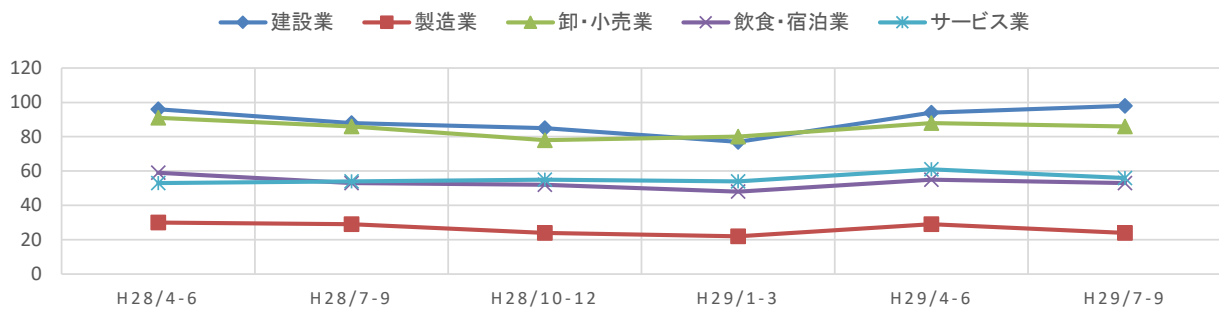
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



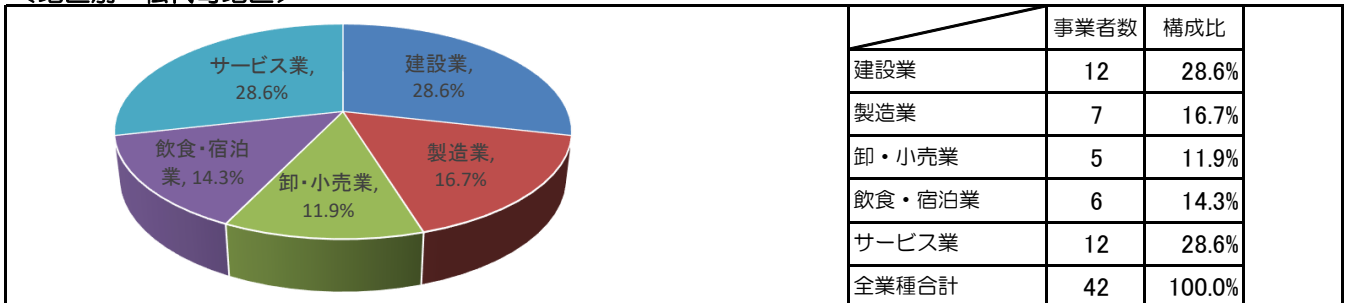
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



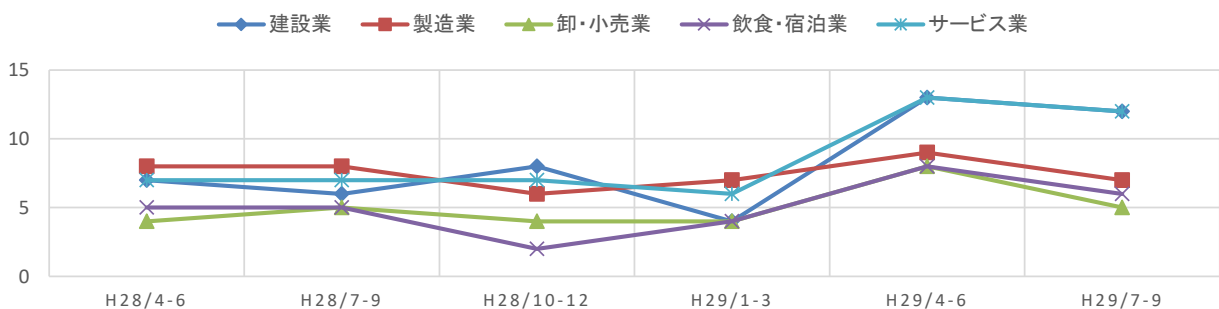
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約30%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：松代町地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

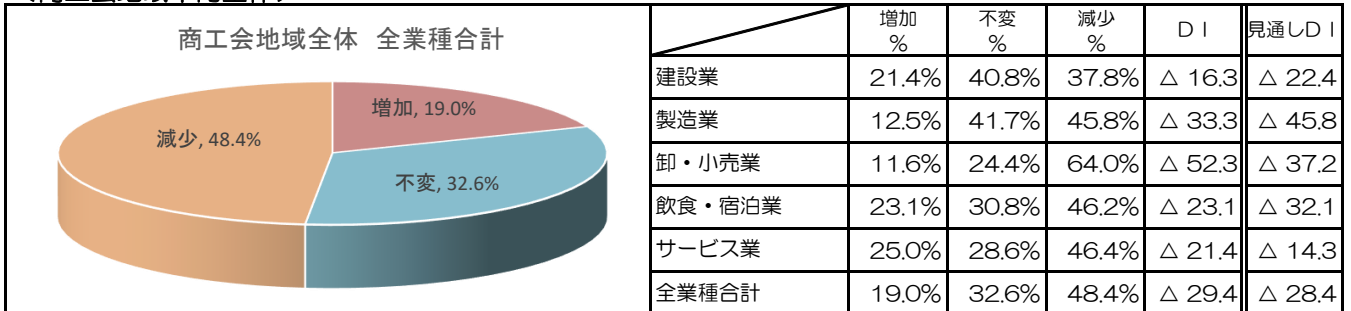
松代地区の商工業者66社に対し調査を依頼し、42社（回収率63.6%）から回答を得た。業種の構成比は、地区内の小規模事業者の構成比とほぼ同様の数値となっているが、卸・小売業の回答数が少し減っている。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

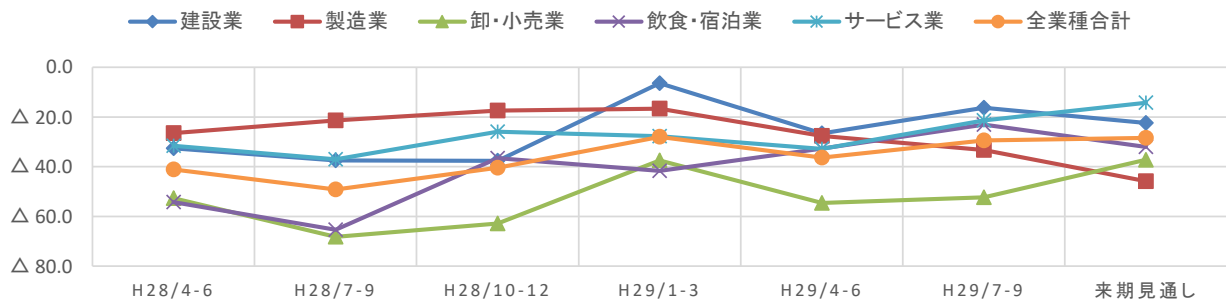
1. 売上について

・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



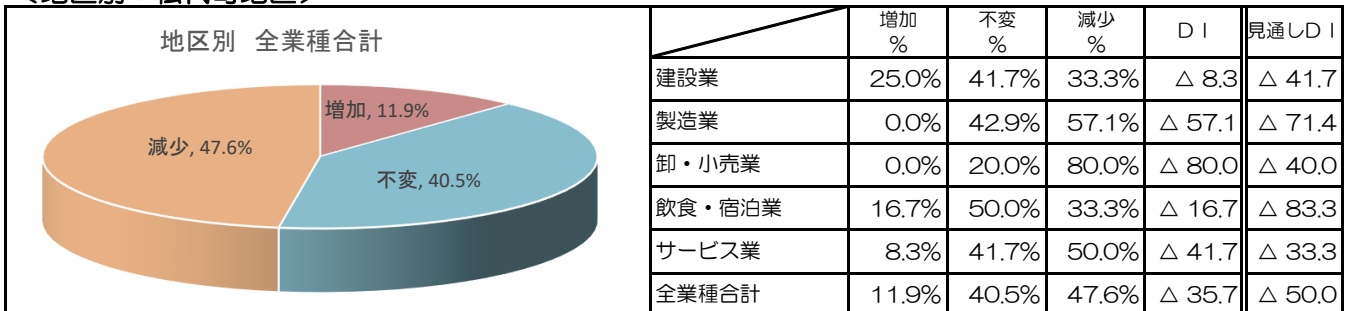
業種別売上の推移（市内全体）



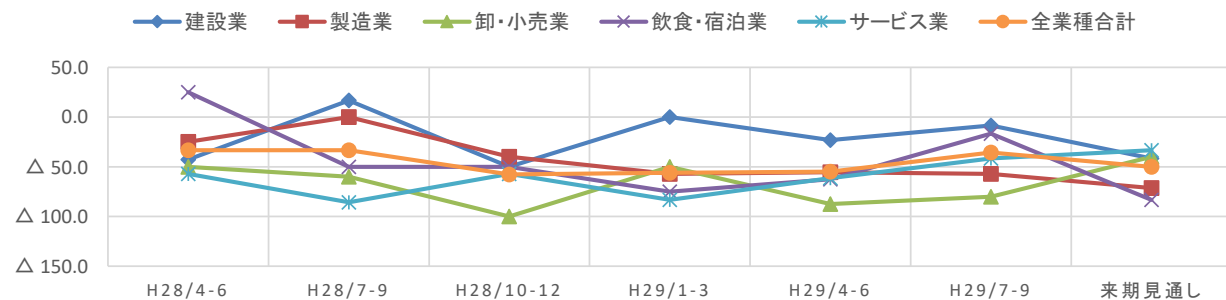
<コメント>

売上は、前年同期と比較して、全業種で△29.4ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つとともに、製造業が悪化傾向である。来期見通しは、全業種で若干改善を予想。卸・小売業とサービス業は、歳末商戦を加味し改善を予想しているが、製造業では、依然として悪化予想をしている。

<地区別：松代町地区>



業種別売上の推移（地区別）



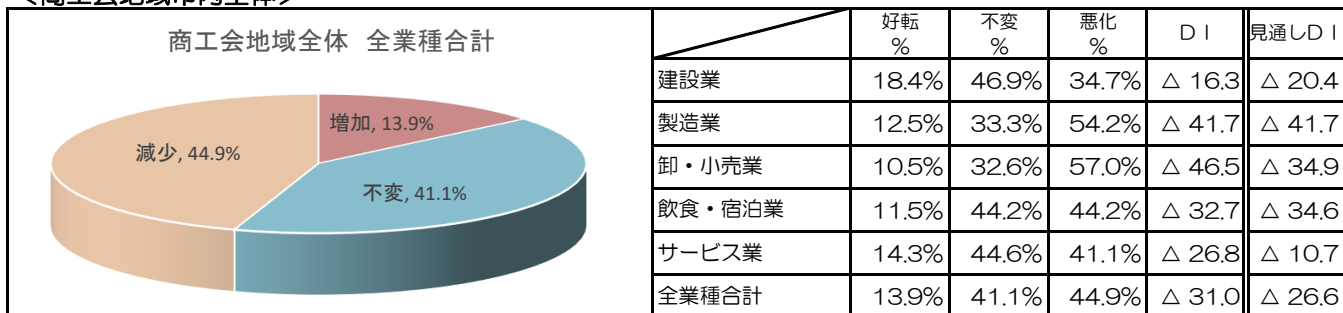
<コメント>

松代地区の「売上の推移」に対する回答は、全業種合計で△35.7ポイントとなり、建設業、飲食・宿泊業、サービス業で「増加」と回答する事業所があり、前回調査より改善している。製造業、卸・小売業は依然として「減少」と回答する事業所が多く、厳しい状況がうかがえる。

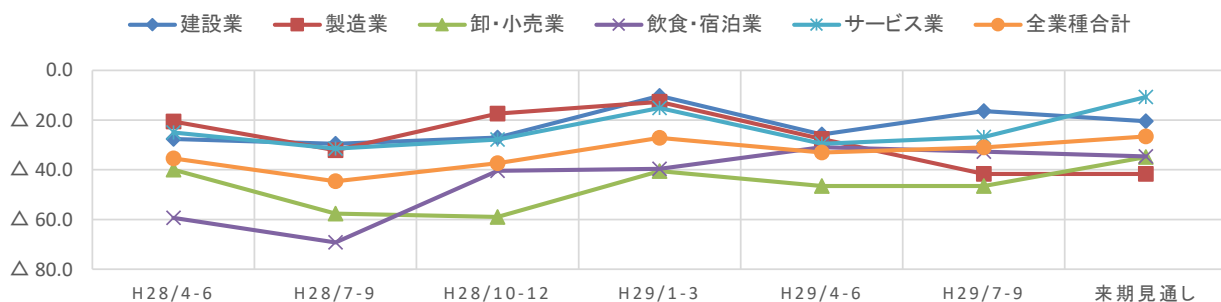
## 2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



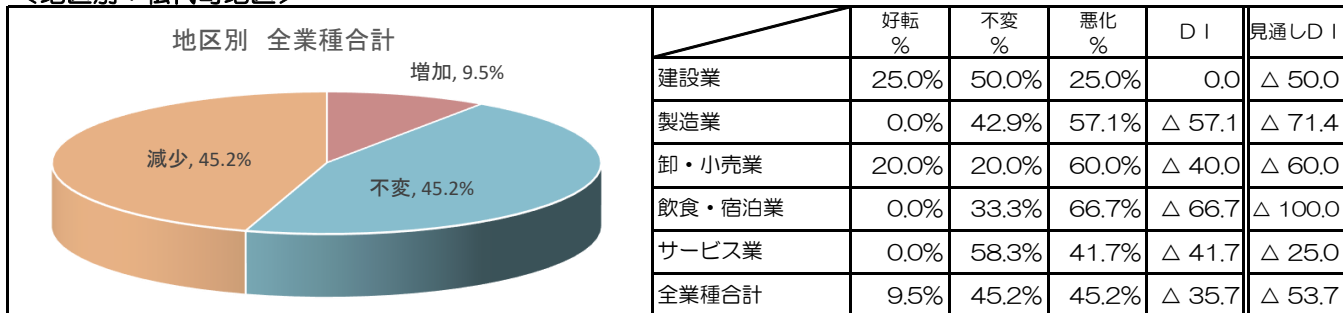
### 業種別採算の推移(市内全体)



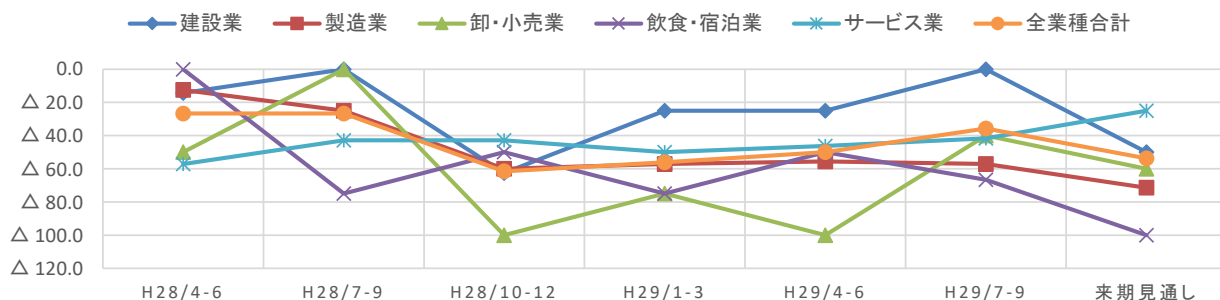
### <コメント>

採算は、前年同期と比較して、全業種で△31ポイント悪化。依然として卸・小売業の悪化が目立つとともに、製造業の悪化も目立つ。来期見通しは、全業種で4.4ポイント改善を予想している。

### <地区別：松代町地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



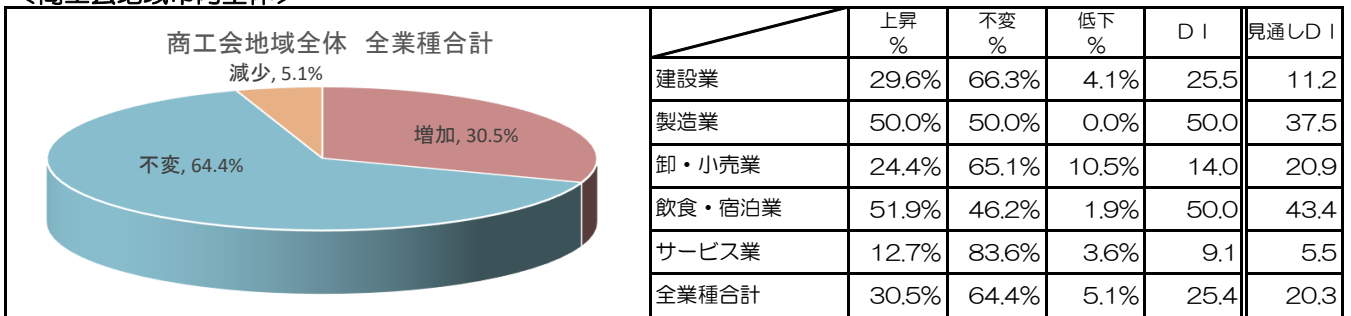
### <コメント>

松代地区の「採算」に対する回答は、全業種合計で△35.7ポイントとなり、建設業、卸・小売業で「好転」という事業所があり、前回調査より改善しているが、飲食・宿泊業では「悪化」の回答が増え、売上の増加はあるものの採算性の改善には至っていない。また、来期の見通しではマイナス幅が大きくなっている業種が多くなっている。

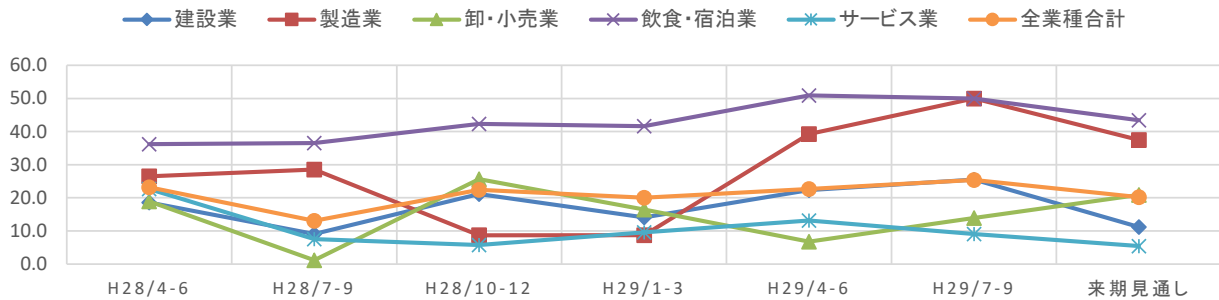
### 3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



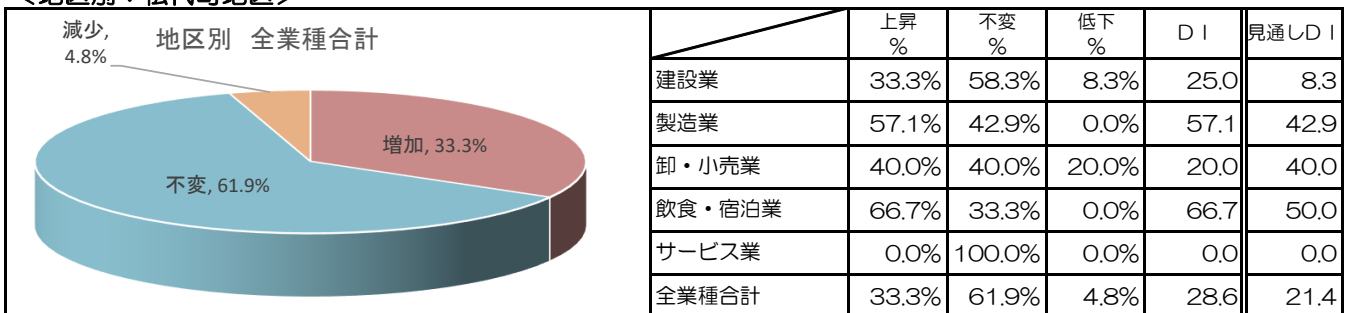
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



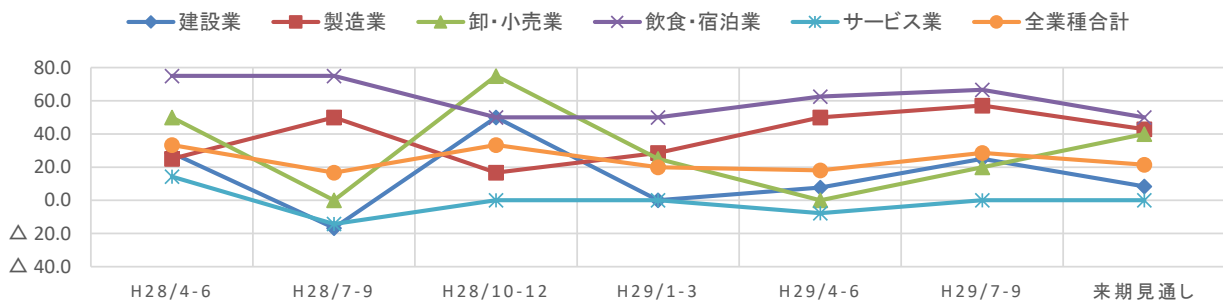
#### <コメント>

仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で25.4ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、若干落ち着いていくように思われるが、この傾向は変わらないと予想している。

#### <地区別：松代町地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



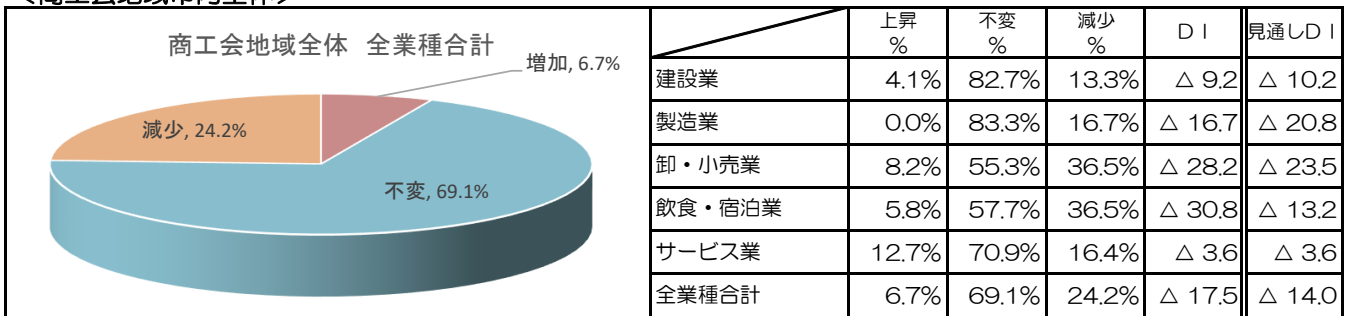
#### <コメント>

松代地区の「仕入単価」に対する回答は、全業種合計で28.6ポイントとなり、全体的に「上昇」という回答が多く、「低下」は少なくなっている。特に建設業、卸・小売業でDIの増加が目立つ。来期の見通しにおいてもDIが増加しており、売上原価の上昇傾向がうかがえる。

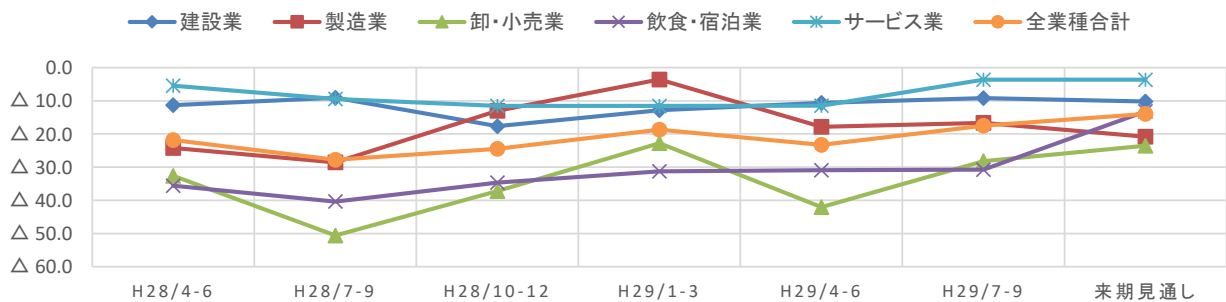
#### 4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <商工会地域市内全体>



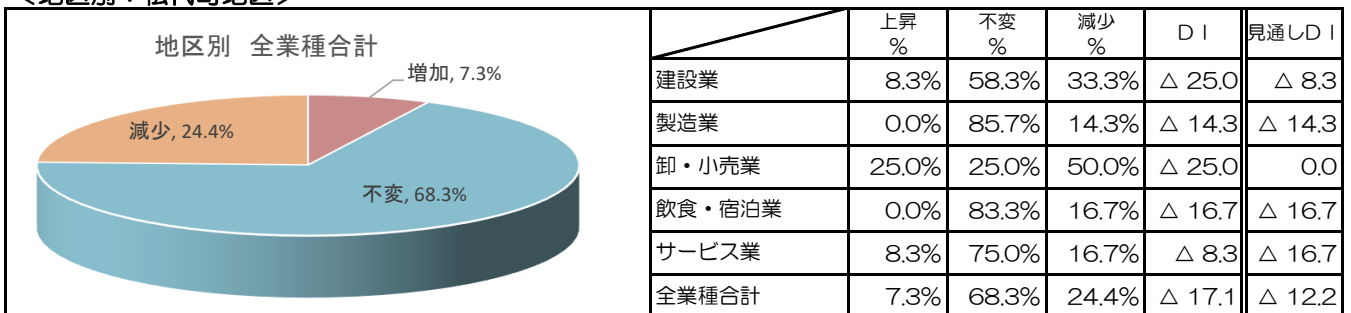
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



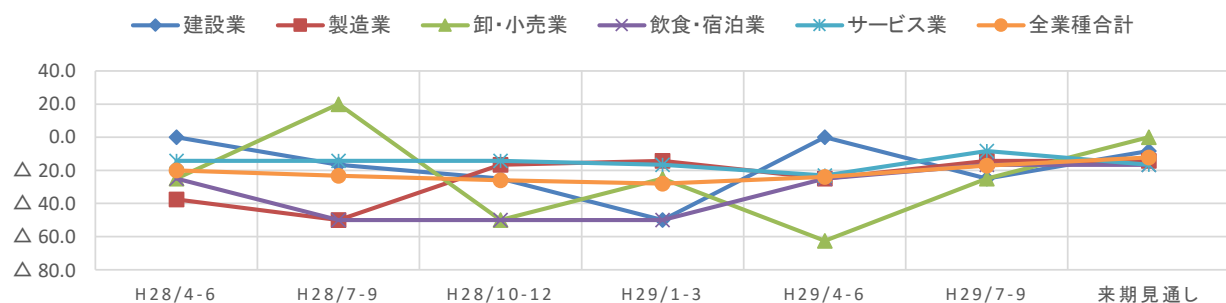
##### <コメント>

販売単価は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△17.3ポイント低下。来期見通しでも、全業種では低下予想をしているものの、飲食・宿泊業では、忘年会シーズンを期待して上昇予想をしている。

##### <地区別：松代町地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



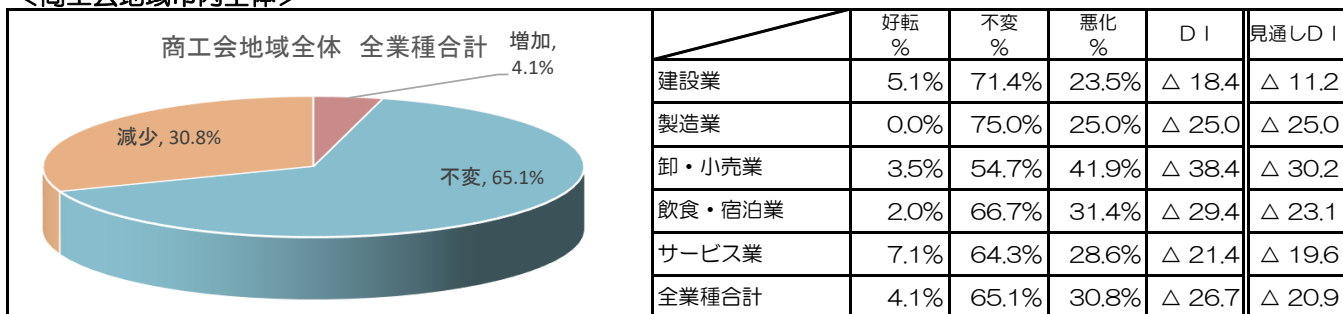
##### <コメント>

松代地区の「販売単価」に対する回答は、全業種合計で△17.1ポイントとなっており、建設業を除き、前回調査より改善している。特に卸・小売業では「上昇」と回答する事業所もあり、数値の改善幅が大きくなっている。来期の見通しにおいても、卸・小売業で改善が見込まれる。

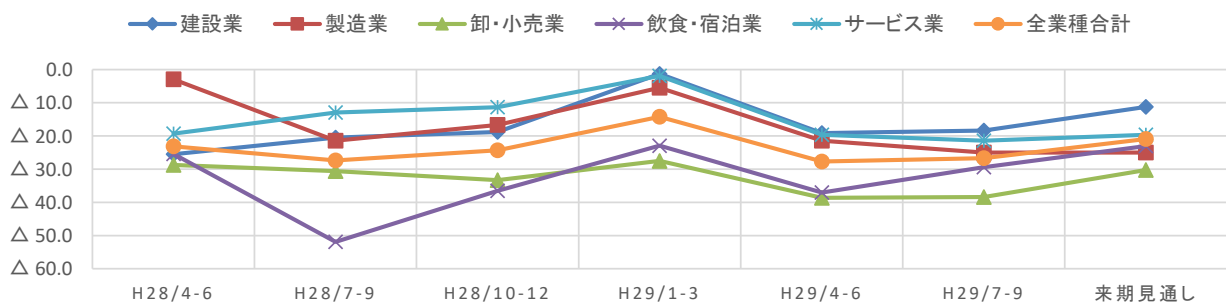
## 5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



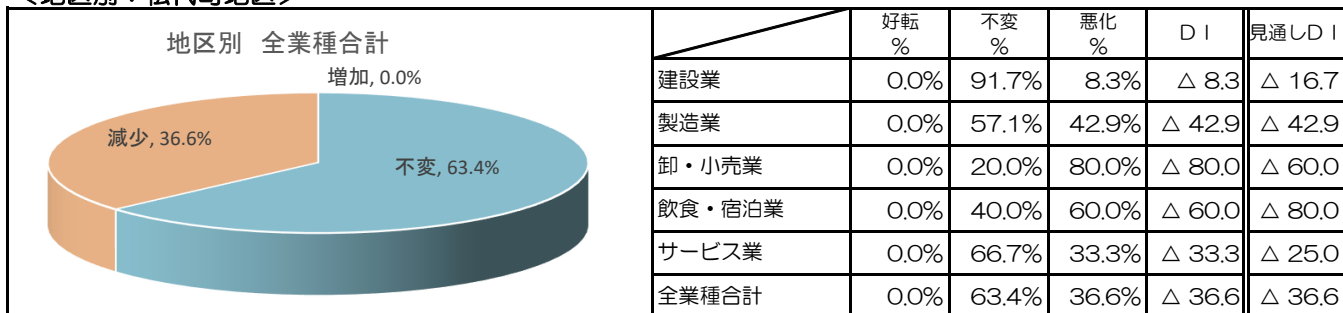
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



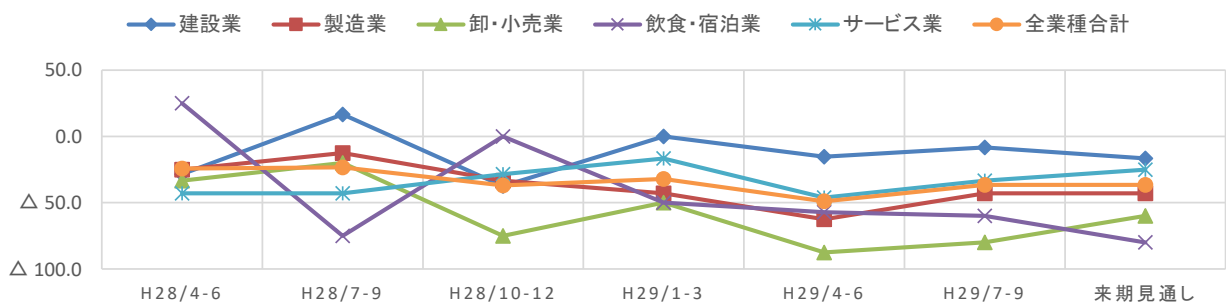
### <コメント>

資金繰りは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△26.7ポイント悪化。依然として、卸・小売業及び飲食・宿泊業の悪化が目立つ。来期見通しでも、若干の改善傾向を予想しているものの、厳しい状況は変わらない。

### <地区別：松代町地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



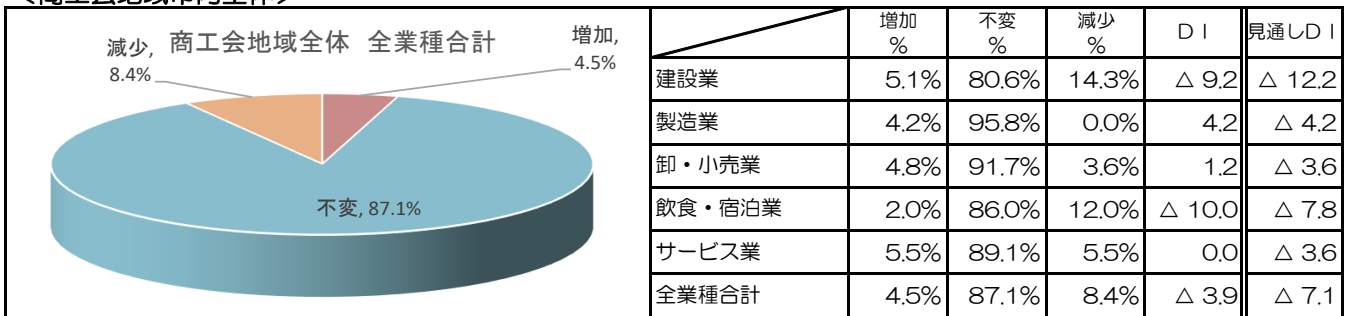
### <コメント>

松代地区の「資金繰り」に対する回答は、全業種で「好転」の回答はゼロであるが、全業種合計のDIは△36.6ポイントとなり前回調査よりも改善している。業種別では卸・小売業、飲食・宿泊業が△50ポイントを上回り、厳しさがうかがえる。来期の見通しについても、全業種合計で前回調査より数値が上向いている。

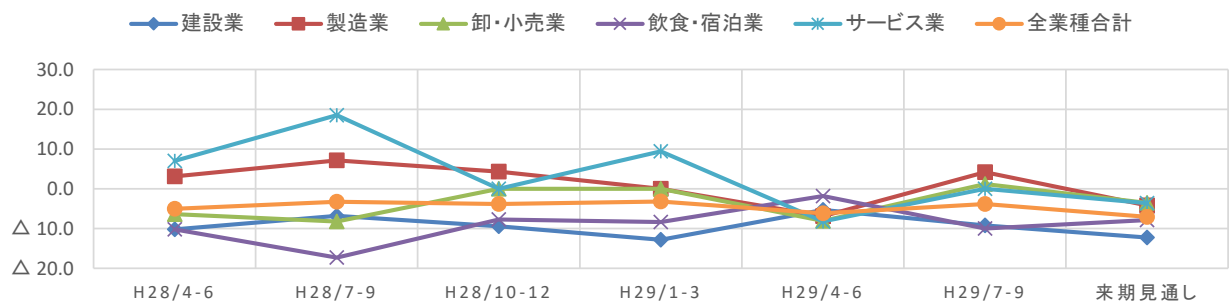
## 6. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



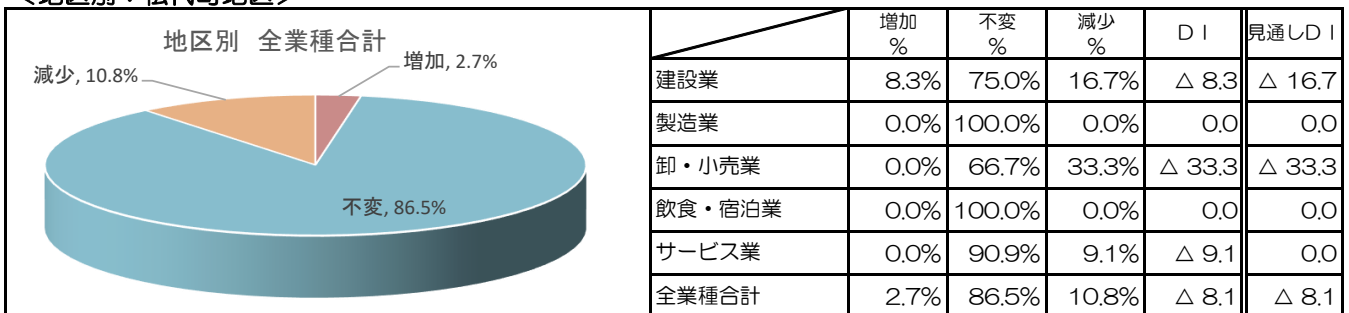
### 業種別従業員数の推移(市内全体)



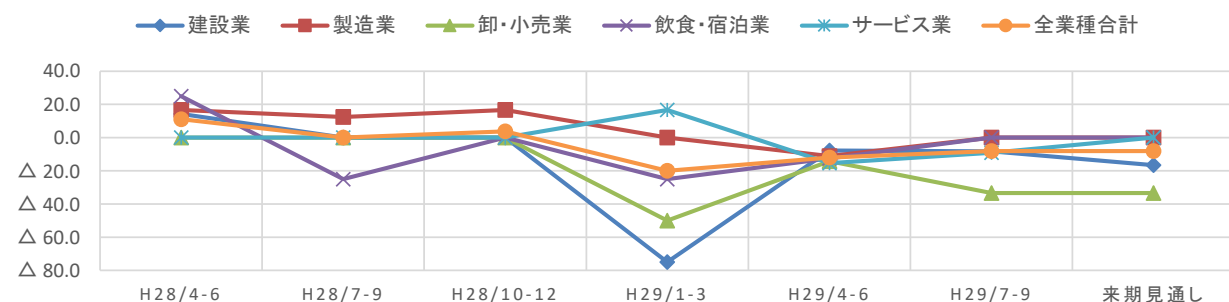
### <コメント>

従業員数は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△3.9ポイント減少。来期見通しでは、同じような傾向であるが、全業種で減少予想である。

### <地区別：松代町地区>



### 業種別従業員数の推移(地区別)



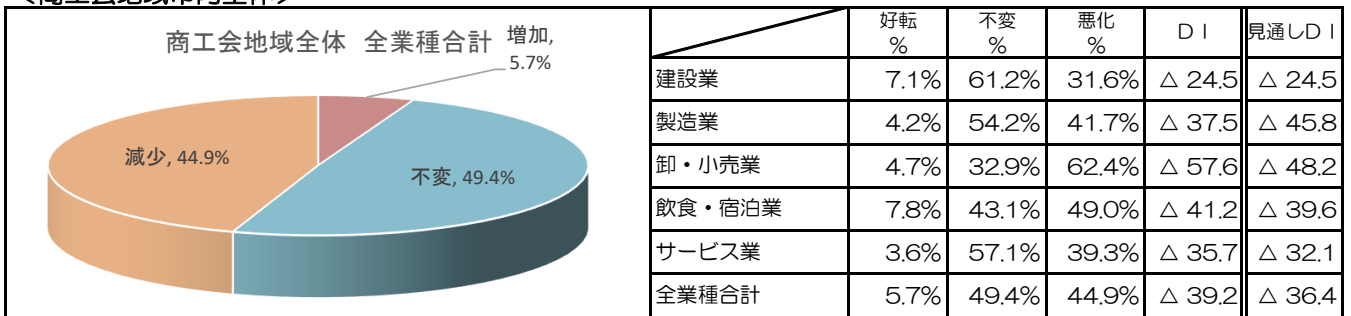
### <コメント>

松代地区の「従業員数」に対する回答は、全業種を通じて「不変」という回答が多く、DIIは△8.1ポイントとなっている。来期の見通しにおいても卸・小売業以外はほぼ不変と見ているようである。

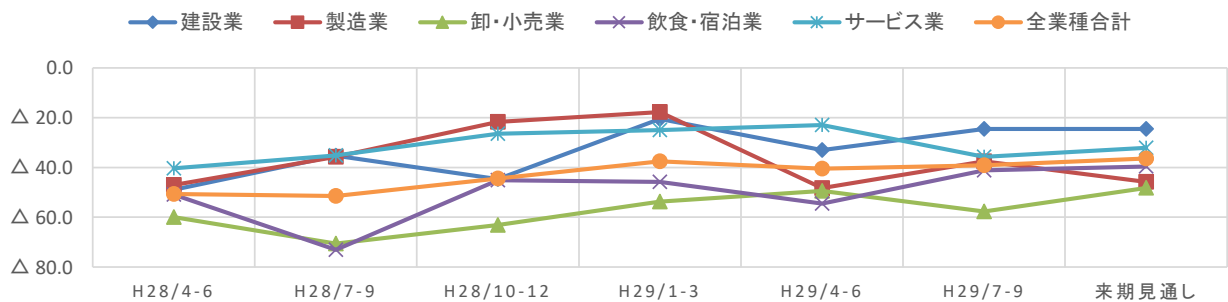
## 7. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



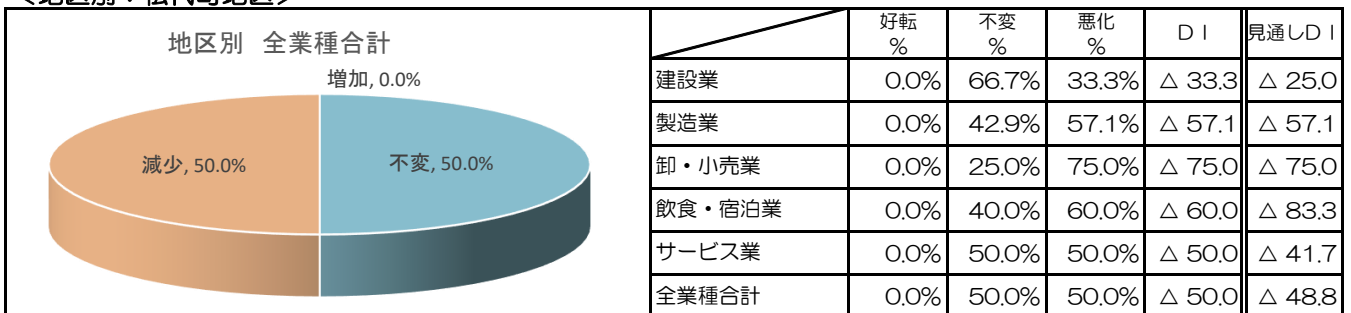
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



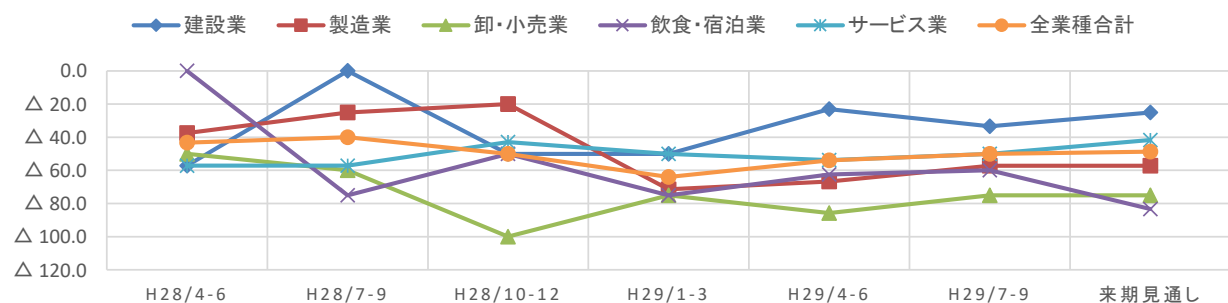
### <コメント>

景況は、前年同期と比較して、全業種で△39.2ポイント悪化。特に、卸・小売業は半数以上が悪化と回答している。来期見通しは、全業種で2.8ポイント改善予想であるが、製造業では△8.3ポイント悪化を予想している。

### <地区別：松代町地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)

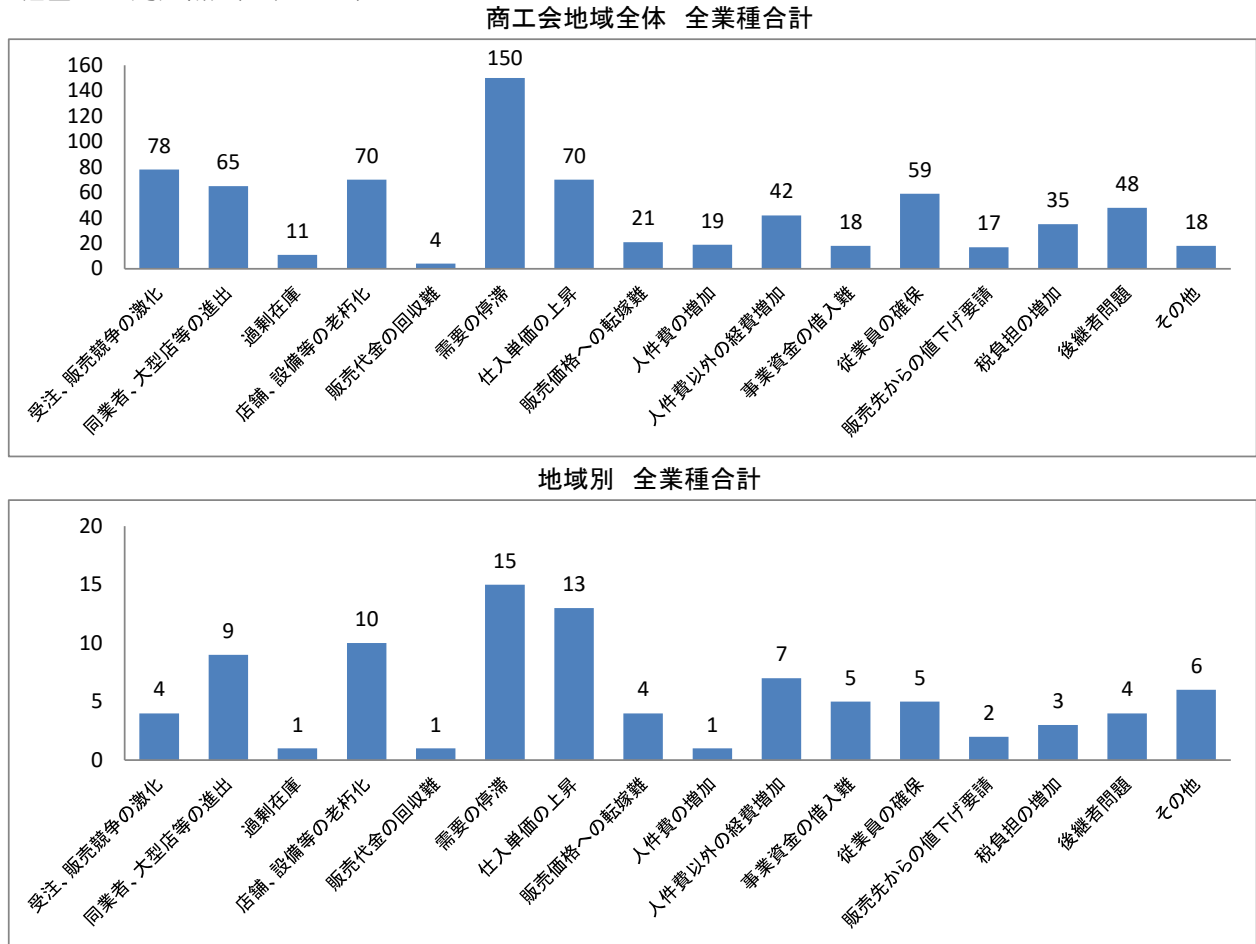


### <コメント>

松代地区の「業況判断」に対する回答は、全業種を通じて「好転」の回答はゼロであり、依然として非常に厳しい状況であるが、前回調査に比べて「悪化」と回答する割合が少なくなり、DIは△50ポイントと若干改善している。来期の見通しにおいても、同様の傾向がうかがえる。



## 8. 経営上の問題点（上位3つ）



### <コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」となり、前回調査と同じ結果となった。

## 9. 地域全体の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p><b>【建設業】</b>            売上・採算に関するDIは前期に比べ改善しているが、仕入単価は「上昇」の回答が多くなり、逆に工事単価は「減少」の回答が多くなっている。資金繰りと従業員数についてのDIは、前期とほぼ同水準となっている。景況判断は「好転」の回答がゼロでDIも若干悪化し、まだまだ厳しい景況感が続いている。来期の見通しでは、売上・採算に関するDIが悪化しているが、景況判断についてはDIが若干改善しており、夏から秋にかけての期待感がうかがわれる。</p>
<p><b>【製造業】</b>            売上・採算・仕入単価に関するDIは、前期と比べてほぼ同水準となっているが、売上の「増加」や採算の「好転」という回答はゼロとなっている。販売単価・資金繰りに関するDIは、前期と比べて若干改善しているが、「上昇」や「好転」の回答はゼロとなっている。景況判断についても「好転」の回答はゼロであり、「悪化」の回答が減少したため、DIは若干改善しているが厳しい景況感と言える。来期の見通しでも景況判断DIは同じ数値となっている。</p>
<p><b>【卸・小売業】</b>            売上については「増加」はゼロであるがDIは前期に比べ若干改善している。採算については「好転」と回答する事業所もありDIは前期に比べ改善した。仕入単価については「上昇」の回答が多くなりDIはプラスとなっている。販売単価については前期に比べ改善を示し、資金繰りに関しては「好転」という回答がゼロであるが若干改善している。景況判断は前期に比べ若干改善しているが、マイナス幅は全業種を通じて一番大きく、景況感は依然として非常に厳しいと言える。来期の見通しにおいても景況判断DIは同じ数値となっている。</p>
<p><b>【飲食・宿泊業】</b>            売上については「増加」という回答もありDIは前期に比べて改善しているが、採算についてはDIが悪化している。仕入単価と販売単価のDIは前期と同水準となっているが、仕入単価の上昇と人件費以外の経費増加が採算や資金繰りの悪化につながっているようである。景況判断については「好転」はゼロであるが前期と同水準となっている。来期の見通しでは業種別で一番DIが悪くなっており、先行きの厳しい見方がうかがえる。</p>
<p><b>【サービス業】</b>            売上については「増加」という回答もあり前期に比べて若干改善している。採算については「好転」の回答はゼロであるがDIは若干改善している。仕入単価についてはすべて「不変」という回答であり、販売単価については「上昇」という回答もありDIは若干改善している。資金繰りに関しては「好転」の回答はゼロであるがDIは若干改善している。景況判断については「好転」の回答はゼロであるがDIは若干改善し、来期の見通しも同水準となっている。</p>